独立行政法人大学入試センター研究開発部テニュアトラック教員の募集

- 1. 募集人員 テニュアトラック助教またはテニュアトラック准教授1名
- 2. 所属研究部門 試験技術研究部門

3. 研究・業務内容

当該研究部門では、社会の変化に応じた新しい試験技術の研究開発を、数理・情報科学的方法に基づいて行う。本公募職種については、大学入学共通テストの質保証を目的として、自然言語処理を軸に、人工知能(知能情報学)、情報工学等、教育工学の知見を利用して試験問題の作成支援に関する研究を行う。その一つとして、設問を含む試験問題のテキストデータベースを拡充し、これを基に、試験の難易度予測と統計情報のテキスト要約に関する研究を業務とする。

4. 当センターの「テニュアトラック制」の趣旨

当センターの「テニュアトラック制」は、若手教員に対し、テニュア獲得のインセンティブを与えることにより、大学入学者選抜の改善に関する調査研究及び専門的立場からの大学入学共通テストへの貢献に対する意欲を高めるとともに、その能力及び資質の向上を図るものである。

※独立行政法人大学入試センターテニュアトラック制に関する規則 https://www.dnc.ac.jp/albums/abm.php?d=22&f=abm00003533.pdf

採用された「テニュアトラック教員」は、メンターの指導のもと、Principal Investigator として、研究室が与えられるとともに、研究費を獲得・執行しつつ、独立して研究活動を行うことができる。

5. 応募資格

- (1) 人工知能(知能情報学)、情報工学、教育工学および関連領域に専門的知識を有すること。
- (2) 博士の学位を取得後、10年以内であること。ただし、助教応募者は、博士学位取得見込みであってもよい。
- (3) 研究・業務を日本語で支障なく行えること。
- (4) 筆頭著者の査読付き論文(欧文、和文を問わず)を助教応募者は3編以上、准教授応募者は5編以上有すること。ただし、掲載決定を含めてよい。なお、競争力のある国際会議での論文や著書(単著または分担執筆)を査読付き論文と同等に扱う場合がある。

6. 任期及びテニュア付与

任期は5年とする。原則として採用から5年目にテニュア付与に関する審査を行う。また、原則として、3年目に中間評価を行う。極めて優秀な評価を得て適格と認めたときは、任期の途中であってもテニュアを付与する場合がある。

7. 待遇

(1) 給与等:センターの規程による。

- (2) 始業・終業時間等:午前9時00分~午後5時45分(休憩午後0時00分~午後1時00分) 裁量労働制:上記時間を基本とし、時間配分等について労働者の決定に委ねる。1日のみなし労働時間は7時間45分とする。
- (3) 休日:日曜日、土曜日、国民の祝日、12月29日から翌年1月3日までの日、創立記念日(5月2日)
- (4) 休暇:年次有給休暇、病気休暇、特別休暇
- (5) 保険等:社会保険(文部科学省共済組合、厚生年金保険)、雇用保険に加入する。
- 8. 応募に必要な書類
- (1) 履歴書(写真貼付、学歴・職歴等を詳細に記載すること)
- (2) 研究業績等一覧(論文、総説(報告書を含む)、著書、翻訳等を区分し、著者名・発表年・題名・発表雑誌名等を明記する。著者名のうち、応募者には下線を引くこと)
- (3) 主要な論文、著書5編以内(各1部、書籍の場合は後日返却)
- (4) 推薦状1通(推薦者の氏名・所属・職名・連絡先メールアドレスを記すこと)
- (5) 次の(A)~(C)について応募者が記した文章(日本語で合計 2,000 字程度):(A) 応募する職種(助教、准教授のいずれか、または両方)、(B) 点検や評価を含めた入試問題作成を支援する、自然言語処理を軸とした技術開発研究について応募者が記した文章(日本語で A4 一枚程度)、(C) これまでの研究業績を踏まえた今後の研究計画や抱負
- 9. 応募締切日 令和7年5月30日(金) [必着]
- 10. 採用予定日 令和7年10月1日以降のできるだけ早い時期
- 11. 問合せ先

独立行政法人大学入試センター研究開発部 試験技術研究部門主任 荘島宏二郎

電話: 03-5478-1271

E-mail: saiyo@rd.dnc.ac.jp

- 12. 選考方法 書類選考の上、面接を実施予定
- 13. 応募書類提出要領

応募に必要な書類(1)~(5)を PDF 形式で作成し、 1 つの ZIP ファイルにまとめて、JREC-IN Portal の「Web 応募」で提出すること。

応募に必要な書類(3)について書籍等があり、PDF形式で提出しがたい場合は、下記送付先に郵送すること。

〒153-8501 東京都目黒区駒場 2-19-23 大学入試センター総務部総務課長宛

14. その他

当センターでは、共通第1次学力試験以来の大規模データを扱う調査研究を行うことが可能であり、こうした調査研究は個々の大学・研究機関では実施が難しいとされています。また、当センターのミッション実現のための調査研究には「理事長裁量経費」の応募が可能であるほか、別途所定の個人研究費も用意されており、採用後の研究のスタートアップに充てることができます。